

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

本日、年末に書き始めた作品のエピローグを仕上げ、末尾に<了>マークを打ち込むことができました。

これでプロローグとエピローグが完成した！
あとは張り切って本文100枚を書くだけだ！

という感じで、自分は順番通りに書かない人間なので、<了>を打ち込んで感無量という経験はしたことがありません。

ちなみに、プロットはナシ派です。
かといって、書きながら考える、ライブ派でもありません。

じゃあどんな風書いているかっていうと、ストーリーは冒頭からラストまで脳内で組んでいて、それを言葉に置き換えていく感じです。

なので「書いてみたら別物になった」って経験はないんですよね。
強いて言うなら「プロットを書かない脳内プロット派」かもしれません。

さてさて。
そんな執筆中の作品ですが、枚数はまだ全然だけど、いい感じに進んでいます。

「〇次選考は確実に通過」とか、「受賞間違いなし」とか、そういう自信はないですが。
ただ、前に指摘された欠点は、すべて直せているので、そういう意味の自信はあります。

なので是非とも、過去に常木らくだの作品を読んで、ダメ出し（いい意味で）をくださった皆様に読んでもらえる嬉しいなど。

読んでもらうためには、まず完成させなきゃいけないので、それが先決ですけどね（汗）
それをモチベーションにかえて、バリバリ進めていきたいです。

こんばんは、らくだです。

ボヤボヤしているうちに、早くも2月になりました。
締切りまで残り時間も少ないですが、気合い入れて頑張ろうと思います。

さてさて。
まずは月初め恒例の、パブー版の紹介から。

【らくだ図書館（37）】

<http://p.booklog.jp/book/94756>

3年間ずっと同じデザインの表紙で、さすがに自分でも飽きてきたので、今回からはシンプルな感じに変えました。

背の色は半年ごとに変更する予定です。
相変わらずコピペですが、一応需要はあるみたいなので、これからもアップします。

それから業務連絡(?)ですが、リンクを申し込んでくださったM様、どうもありがとうございました。

さっそく貼らせていただきましたよ!

ツイッターのメッセージが、ひょっとすると届いていないかもしれないので、一応ここでもご報告を。

とまあ、そういうわけで。

執筆は相変わらず進んでいませんが、まずは締切りに間に合うように(切実)、毎日ちょっとずつ頑張ろうと思います。

先日FP3級を受けましたが、次回は2級を受ける予定です。
そして2級の受験資格を得るために、現在、提案書の作成に取り組んでいます。

提案書とは何かというと、「自分がプランナーになったと仮定して、課題として与えられた人物（架空の人）に、金銭面・経済面での指導書を作成する」というものです。

まあ、アレですね。
イメージプレイというか、ロールプレイングというか、そういう感じの作業です。

しかしコレが、……面白い！

所得税や住民税、将来の年金受給額、住宅ローンの残債、投資の運用成果や利回り等々、計算は正直かなり複雑なんですけど、それを忘れさせる圧倒的な面白さ。

いや、面白いというか、なんかデジャブなんですよ。
こういう作業は完全に初めてなのに、あれ、不思議なほど進めやすいなあ……と。

そんなわけで、作業しつつ自分でも不思議だったんですが、あれこれ考えた結果その理由が判明しました。

『架空のキャラを想像して、その人物の生活を作り込むのは、毎日やってることだから』

うん。
自分のワナビ能力が、投稿開始6年目にして、初めて役に立った気がする。

しかしそれにしても、完全に無駄だと思っていたこの能力が、実生活で本当に役立つ日が来るなんて、まさか夢にも思いませんでした。

そんなこんなの提案書。
小説の締切りよりも、こっちの締切りの方が先なので、優先的に仕上げようと思います。

いつも読んでいる投稿ブログに、すごく共感できる記事があったので、今回はその話を紹介します。

テーマはズバリ、「投稿初期の自分の作品を読み直してみよう」！

ちょっと想像してみてください。

数年前に書いた作品を読み返すと、皆様はどんな気分になりますか？

ちなみに自分はこんな気分です。

- ・日本語メチャメチャだな
- ・いつ場面が切り替わったんだ
- ・どのキャラも全員同じ性格に見える
- ・これ書いた作者って相当ヤバイんじゃない？
- ・ああ、書いたの自分だった、恥ずかしすぎて消え去りたい！

しかし、ちょっと待ってください。

恥ずかしければ恥ずかしいほど、それはつまり、自分が成長した証拠なのです。

自分はこの発想を聞いて、本当にその通りだなんて、目からウロコの気分でした。

だって、そうですね。

悪い部分が見えるっていうのは、裏を返せば、今はそうじゃないって意味です。

少しもレベルが上がっていなければ、今もその作品が面白く見えて、恥ずかしいなんて思わないわけですし。

成長って目に見えないものだから不安だけど、過去の作品に身悶えて「これが成長の証なのか」と思うと、ちょっと具体的に実感が湧いてきますよね。

もし自信を失ったら、この発想を思い出して、モチベーションを上げたいと思いました。

こんばんは、らくだです。

先日クレジットカードで買い物した際、筆名をサインしそうになって、レジ前で思わず肝を冷やしました(汗)

毎日ブログで名乗っている影響ですかね。

最初の文字を「常」って書きそうになって、「違うよ、これペンネーム！」みたいな。

これはヤバイぞ……！

このままでは常木らくだに人格を奪われる……！

いや、奪われるも何も、自分が常木らくだなんだけど……！

さてさて。

今回はなろう系コンペの紹介です。

前にMFブックス&アリアンローズ主催で開催された小説家になろう大賞。

第2回目となる今回は、「ライト文芸新人賞」という名称で、募集をするようです。

【公式ホームページ】

<http://mfbooks.jp/award/02/lp.html>

イメージイラストは共通の画像ですが、今回はアリアンローズっぽいですね。

男性キャラクターも女性キャラクターも、少女小説を思わせるような雰囲気です。

テーマを確認すると、両部門ともに「学園」や「料理」などがあって、なかなか新鮮。

主人公の属性は「チートなし」とか、「平凡ヒロイン」などもあるようです。

そんなこんなで、前回よりも幅が広がっている様子ですので、ご興味のある方は公式サイトをチェックしてみてください。

こんばんは、らくだです。

数日前に「自分の過去の作品を読み返そう！」という記事を書きました。
それで落ち込んだら、それこそ成長した証拠なんだよ、という主張でした。

ただ、実際に過去の作品を読んでもみると、落ち込むだけでもないんですよね。

確かに文章がおかしかったり、場面転換が唐突すぎて混乱したり、技術面のツッコミどころは山ほどあります。

ただ、初期の作品には、独特の情熱が感じられるような気が。

例えば登場キャラがすごく多い場面だったり、複雑な背景描写が必要になる場面だったり、今だったら面倒で回避するようなシーンにも、逃げずに真っ正面から立ち向かっていたりします。

過去の自分を褒めるのも何ですが、拙いながらも頑張っって自分の世界を表現しようとする姿勢は、ものすごく好感が持てるというか。

逆に言うと、今は逃げ方がわかっているので、面倒なシーンは回避しちゃうんですよね。
手抜きの方法を知っているから、思わず手を抜いちゃうんです。

もちろん自分では手抜きしようなんて思っておらず、全力で書いてるつもりなんだけど、突き詰めるとやっぱり手抜きしちゃってるよなーと。

こういう状態、舞台用語でいうと、「二日落ち」っていうんでしょうか。

初期の情熱と現在の技術、その両方を発揮できれば、理想的なんですけどね。
言葉の上では簡単ですが、実行するのは難しいことなので、注意して頑張ってみます。

こんばんは、らくだです。

少し前にも書いたんですが、自分は土曜日に、資格学校に通っています。

今はひとまず簿記とFPを勉強中ですが、他資格の説明会にも顔を出したり、色々と情報収集をしています。

でも、思うんですよね。

合格率10%とか説明されて、周囲がザワついている時。

余裕じゃん！

え、10%って最終合格率？

それって比較的ゆるい賞の1次通過率だよな？

ちなみに、主要資格の合格率は、下の記事にまとめてあります。

この記事↓↓↓

[途方もない勝負 \(2014年08月25日\)](#)

科目合格制度がある資格もありますし、数字だけを見て単純な比較はできませんけど、とりあえず受賞が無理ゲーであることは絶対に間違いないね！

でも、アレですよ。

真面目な話、小説投稿を真剣に続けていれば、相当メンタルが鍛えられるのは間違いなく、その根性は投稿をやめても今後の人生でいきてくると思うんです。

逆に言うと、それだけハードなんだから、疲れちゃうのも当然だよなと。

たまにはそういう意味で、自分自身を褒めてあげても、罰は当たらないと思います。

こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

今週末は四大陸選手権（開催地：ソウル）です！

テレビ放送のある大きな試合は、全日本以来なので、今から開幕が楽しみです。

【フジテレビ・四大陸特集ページ】

<http://www.fujitv.co.jp/sports/skate/four-continents/>

【放送予定】

2月13日（金）	19:00～21:54	男女ショート
2月14日（土）	19:40～21:44	男子フリー
2月15日（日）	19:00～20:54	女子フリー

【出場選手（敬称略）】

（男子） 宇野昌磨、村上 大介、無良 崇人

（女子） 宮原知子、本郷 理華、永井 優香

男子ショートは12日なんですが、放送日は13日なんですよ……。

せっかく時差がないんだから、当日に放送して欲しいです。

さらにもっと欲を言うと、ペアとアイスダンスも、テレビで放送して欲しい。

ついでにもう一つ言うと、いつも関東ローカルの関連番組を、全国で流してください（涙）

日本選手の顔触れについては、今回は好きな選手ばかりなので（別に嫌いな選手とかいないですけど）、試合全体が楽しみです。

個人的な期待を言うと、特に応援したいのは、村上大介選手ですね。

NHK杯のような輝いた演技を披露して、全日本の悔しさを晴らして欲しいです。

こんばんは、らくだです。

今回は最近読んで面白かった本の紹介です。

その本とは、コチラ↓↓↓



『あやしい投資話に乗ってみた』

著者：藤原 久敏

出版社：彩図社

発売日：2014年7月24日

投資なんて単語を聞くと、それだけで拒絶反応を示す方もいるかもしれませんが、この本はオススメです。

内容は、あやしい投資を筆者が実際に体験し、それをエッセイ風に綴った感じです。未公開株や和牛オーナー等、一般人には敷居が高い、そんな体験談が7つあります。

そしてこの本、文章が面白い！

あまりにも面白かったので、正直言って嫉妬しました。

筆者のお調子者っぽい性格。

失敗してもまったく懲りない根性。

思わずツッコミたくなる軽快な語り口。

(以上、すべて褒め言葉)

らくだ図書館もこうでありたい、そう思わせるエッセイでした。

ちなみにこの本は、あくまでも体験談で、いわゆる投資論ではありません。

気軽な気持ちでサクッと読める、楽しい読み物として、オススメしたいと思います。

こんばんは、らくだです。

いつデビューしても困らないように、サインのデザインを考えてみました。

マウスで書いたので微妙ですが、3つ載せちゃうぜコノヤロー！

<サイン1>



ふへへ……。

いつか絶対にデビューして、このサインを、自著のカバーに書くんだ……。

なんて妄想を披露すると、完全にヤバイ奴だと思われそうですが、実際にヤバイ奴ですのでどうぞよろしく。

下はその2です。

海外のファンの皆様へは、英語でサインしなきゃね！

<サイン2>



余談ですがサインのコツは、

- ・一文字だけ強調してみる
- ・線を思いっきり伸ばす、または円にしてみる
- ・画面内の流れを意識する（左上から右下、またはその逆など）

だと聞いたことがあります。

そうそう。

いつか児童文学も書きたいので、お子様向けに、似顔絵風のサインも考えました。

ウィンクと指差して、ハートをズキュン！

<サイン3>



どうでしょう。

常木のセンスはともかく、考え始めると意外と楽しい、オリジナルのサイン。

クレジットカードの署名なんかも、日本人だと普通に名前を書くことが多いですが、綺麗なデザインでサラサラッと書けたら格好いいですよ。

え、なに？

デビューの予定？

ないよ！！！！！！！！！！

先日モスバーガーで食事した時。

隣の席の女子が「また落選した」、「あたしもー」と話していたので、ビックリして聞き耳を立てたら、某アイドルグループのライブの話でした。

なんだよ！

てっきり投稿者だと思って期待(?)したのに！

まあでも、チケット取りの落選も、続くと結構ヘコむんですよね。

ライブほどではないですが、スケートのチケットも取りにくいので、気持ちはわかります。

さてさて。

今回はいただいたメッセージの紹介を。

ちょっと前に落選保険に関する記事を書いて、「んなもん成立すっか」と袋叩きにあったんですが、本日「アリだと思います」という励ましを頂戴しました。

実現はまあ難しいとしても、小説のネタとして、面白そうですね……と。

(メールをくださったK様、ありがとうございました！)

不評だった記事に励ましが届いて、それが嬉しいのはもちろんなんですが、「小説のネタにする」という発想がイイですよ。

現実的に不可能な話であっても、書き方次第では、面白い小説になるかもしれません。

仮にも投稿者という立場なんだから、本当は真っ先にそういう発想を持つべきなのに、真面目に落ち込んだ自分は視野が狭かったなあ……と反省しました。

あり得ない空想でも、書き方次第では、絶好のネタになる。

そういう自由な&柔軟な発想で、物事を見ていきたいと思います。

こんばんは、らくだです。

先月から今月にかけて、秋締切りの賞の1次発表が、続々と続いております。

今回はその中から、GAさん（後期分）について。

いつも通り発表ページのリンクと、通過数の情報を載せておきます。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/07/index02.html>

応募総数	847 作品
1次通過	237 作品
1次通過率	約 28 %

通過された皆様はおめでとうございます！

30%以上の回もありますが、今回は約28%と、若干抑え目な感じでしたね。

それにしても。

GAさんの最大の特色といえば、なんといっても、発表があいうえお順な部分です。

前に自分が投稿していた頃は、いつも後ろに、同じ方がいらっやいました。

で、自分はだいたい落選するので、「また1次落ちだったけど、あの人は今回も通ったな」と思うのが、一種の恒例行事のようになってました（汗）

あと、あいうえお順の利点(?)は、複数通過すると名前が並ぶところですよ。

3つとか4つとか揃っていると、もう壮観というか、うらやましいなあって感じです。

そんなこんなのGAさんですが、リストに知っている方もいらっやるので、2次発表を楽しみに待ちたいと思います。

通過しました！ - 2015.02.13 Fri

こんばんは、らくだです。

スーパーダッシュ……もとい、集英社ライトノベル新人賞の、1次結果発表がありました。

先に結果を報告しますと、2年振りに通過しました！

直前に書いた話なので、いつも以上に、喜びもひとしおです！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/result.html>

応募総数	884 作品
1次通過	200 作品
1次通過率	約 23 %

あまりにも嬉しかったので、普段あまり使わないツイッターで報告したら、非常にたくさんの祝福リプを頂戴しました。

反応をくださった皆様、ありがとうございました。

嬉しい出来事があった時に、祝福してくれる人がいるって、幸せなことだと思います。

しかし発表の後にアクセスが伸びたんですが、そのタイミングで載せていたのがサインの話だったので、タイミング的にかなり恥ずかしかったという。

デビューする予定、マジでないです（汗）

アイツ電話きたんじゃねって憶測されて、でも必死で隠さなきゃいけない状況っていうのに、いつか是非なってみたいものですね。

とにかく、気になる2次発表は、来月5日。

通過していることを祈りつつ、ドキドキ待ちたいと思います。

2月14日といえば、バレンタインです。
バレンタインといえば、チョコレートです。

らくだと名乗っている以上、チョコだって、ラクダ関連で揃えたいもの。
そう思ってネットを検索していたら、素敵なメーカーさんを発見しました。

【アルナスマ】

<http://www.al-nassma.com/>

ロゴマークがラクダのメーカーというと、紅茶の『ルピシア』などが浮かびますが、この『アルナスマ』もラクダです。

いいえ、ロゴだけじゃありません！

チョコの形もラクダなら、原材料もラクダのミルクという、まさにラクダ尽くし！

具体的には、こんな感じ。





以上は3年前の写真です。

どうして昔の写真を載せたかということ、今年も買おうと思っていたのに、買いそびれてしまったからです（涙）

このメーカーさん、毎年バレンタイン期間は、デパートの催事場に出るんですけど……。そうじゃない時は、横浜のフラッグシップ店でしか、どうやら購入できないようで……。

というわけで、ラクダチョコは、来年までお預けです。

もしくは来年までに作家デビューして、打ち合わせで上京した際に、おみやげとして買いたいです！（無理やり着地）

火鍋ランチの話 - 2015.02.15 Sun

こんばんは、らくだです。

投稿仲間さんと会い、火鍋を食べました。

自分はウルトラ人見知りですが、皆様いい人で、とても充実した時間が過ごせました。

最初に撮り忘れたので、食べ終わった後の様子ですが、一応鍋の写真をアップ！



せっかく会うのだからお土産を渡そうと考えた結果、サイン入りの製本版『らくだ図書館』を持参しましたが、喜んで受け取っていただけただけで良かったです。

アマチュアなのに自分の本を押し付けるっていうね。

あまり深く考えませんでしたけど、下手するともう迷惑行為ですね。

それにしても、こういう機会があると、とてもいい刺激になると思いました。

作品のプロットを見せてもらったり、iPadの活用方法を教えてもらったり、「あ、こういうやり方があるんだ」という新しい発見も。

それにやっぱり、なんと言っても、モチベーションが上がりますよね。

自分一人だけで創作活動をしていると、やってもやらなくても状況が変わらないので、つつい怠けてしまうというか。

でも今回、投稿について実際に話すことで、「自分もやらなきゃ！」という気持ちが、いい意味でとても強くなりました。

それに投稿をキッカケとして、仲間ができるって、すごく素敵なことですよね。

正直くじけそうな時もありますが、この活動は、今後も長く続けたいと思いました。

こんばんは、らくだです。

執筆に疲れてきたら、自分が載っている通過リストを見て、ニヤリとする毎日です。
しかもその頻度は5分毎なので、傍から見たら、ただの不審者だと思います。

しかし、アレですね。

光の反射の加減とかで、ニヤリとした自分がPCにうつると、不気味さに驚愕しますね。

「ひょーっほっほっほ、魔法のカガミよカガミさん、世界で一番素敵なワナビはだあれ？」

そんなセリフを言いそうな顔してます。

いや、PC相手にそんなセリフ、一生言わないつもりですけど。

まあそれは単なるワナビアン・ジョークとして、真面目に投稿の話をする、前に書いた作品が急に懐かし
くなってきました。

5分毎に通過リストを見に行っているせいか（そこはジョークではない）、「ああ、前の作品を書いた時は、
あの点に気を付けたな、こんな部分も頑張ったよな」みたいに、色々な思い出がフラッシュバックしてきて
しまい……。

挙げ句の果ては、今書いている作品がつまらなく思えて、前の作品がキラキラと輝いて見える、そんな自分
でも戸惑う状態に陥っています。

前の作品が愛しくなる。

今のよりもあっちを書きたい。

皆様はそんな経験ってあるでしょうか。

途中で放棄するわけにもいかないので、新作は新作で完成させる予定ですが、その作業が締切りまでに終
わったら、前の作品を書き直してみようかな……なんて思いました。

フィギュアスケートファンの皆様！

本日と明日はアイクリの新規会員エントリー日です！

先着ではなく抽選なので、急ぐ必要はないですが、希望者の方はお忘れなく。
紹介するまでもないと思いますが、一応念のため、HPアドレスを貼っておきます。

【アイスクリスタル】

<http://www.icecrystalnet.com/>

自分はさっそくエントリーを済ませました。

抽選なので頑張りようがないですが、結果発表は来月上旬らしいので、ドキドキしながら待とうと思います。

それから唐突ですが、少しコメントレスを。
拍手もメアドもわかりにくいのに、いつもありがとうございます。

<ごんべ。様>

四大陸はあと一步のところでしたね。
来月のワールドでの巻き返しを期待しましょう！
そして個人的には、国別対抗戦のエントリーが、今からかなり気になっています。

サインについては、その2はイマイチかなーと思っていたので、好評で嬉しいです。
いつか作家仲間としてサイン本を交換できたら素敵ですよ。

<SH様>

失礼なお願い……なんてことはないですよ！
さっそく伝言を伝えたところ、ご本人も喜んでおられました。
あちら同様、『らくだ図書館』も、引き続きよろしくお願ひします（宣伝）

こんばんは、らくだです。

いたばし国際絵本翻訳大賞の結果発表がありました。

参加者には講評が郵送されますが、同じ物が、ホームページにも載っています。

【公式サイト】

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/063/063706.html

去年は夏から秋にかけてバタバタしていて、3年ぶりに不参加だったんですが、講評を読むと難易度は低めだったようですね。

なんだよ！

オイラが不参加の回に限って簡単なんて！

ちょっと無理してでも参加しておけばよかったよ！

とはいえ、英語が簡単だからって、訳も簡単……ってわけじゃないのが、なんといっても翻訳の難しい部分です。

いや、逆に簡単な文章の方が、困るケースって多いような。

裁量の余地が大きいほど、翻訳する人間の、センスが試されますからね。

あと講評で面白いなあーと思ったのが、「中学生の訳に好感が持てた一方、一般の部はかわいく訳そうという意図が裏目に出て、わざとらしく感じてしまった」みたいな部分。

これは小説にも言えそうですね。

対象年齢を下げようと思って易しく書いても、わざとらしさが見えてしまうと、逆に好感度が下がっちゃうっていう現象。

その部分は、自分も心当たりがあるので、書く際に気を付けたいと思いました。

こんばんは、らくだです。

A F P の提案書（提出課題）を、一足早く提出したところ、認定証が送られてきました。

やったね！

これで5月に受験できるよ！

しかし前も書いたんですが、この提案書というのが、大変だけど面白かったです。

書き始めたらあまりにも面白かったので、締切日より1か月も前に出しちゃいました。

Yさんという架空のお客さんに対して、家計改善のアドバイスをするんですが、この人物の設定がダメダメすぎて……。

定年間近なのに住宅ローンの残債が1,000万円。

1か月に5万円以上も特に必要ない保険料を払っている。

このまま行くと、年間収支がずっと赤字の状態、近いうちに破産。

いや、受験生向けの課題だから、こんな人物なんでしょうけど。

まったく無駄のないエリート親父だったら、家計改善のアドバイスできないですし。

とにかくこのYさんに対して、ローンの繰上げ返済を試算したり、生命保険の見直しを勧めたり、F P になったつもりで助言をするわけです。

実際は数字のデータが中心ですが、でもこれ、小説にしたら面白そうですね。

数字や設定はそのまま活用しつつ、性格付けや人間ドラマを付加したら、十分に成立しそうな気がします。

執筆予定が詰まっているので、今すぐというわけにはいきませんが、ネタとしてアリだなーと思いました。

自分は投稿はもちろん投稿者さんにも興味があるので、人様のブログやツイッターを頻繁に見るのですが、その中でちょっとばかり思うことがあったりします。

よくネットで自作キャラを語っている方がいるじゃないですか。

それ自体は決して悪くないと思うんです。

自分も二次元は大好きですし、自分で書いて、自分で萌えたりしますからね。

ただ、せっかくブログに書くのであれば、その話題に起承転結を持たせた方が、記事のクオリティは上がると思ったり思わなかったり。

たとえば、自分自身が実際にあったのは、

- (1) 無口なキャラが好きだから、そういう人物を主人公にした
- (2) 主人公の気持ちがわからず、感情移入しにくいと指摘された
- (3) でも自分は無口萌えだから、その部分は絶対に変えたくない
- (4) 無口さは残しつつ、読者には地の文で感情を伝えるなど、配慮をしてみた

たった4行で大雑把ですが、こうして自分の体験をフィードバックすれば、読者にとって有益な情報発信になるんじゃないかなあーと。

もちろんコレは、非難じゃないです。

そもそも素人のくせに、お前にブログを語る資格あんのか、っていう話ですしね（汗）

ただ、ネットで自作キャラを語っている方を見ると、「どこが好きなのか」「創作上の問題点は」等々が知りたくなってしまうので、それが具体的に書いてあると嬉しいなーなんて思ったわけです。

以上、なんとなく思った、創作のひとりごとでした。

前に他の投稿者さんが紹介していて、「なるほどー」と共感した手法があるので、今回はそれについて語ってみます。

例えば、『マッチ売りの少女』を書くとしたら、

冒頭で少女が貧しいことを説明したい、さて、そこでどんな描写をしたらいいのか。

少女がどれだけ貧しい存在か、地の文を使って書きまくる、それもまあ確かにアリです。しかし、その方が勧めていたのは、「対比を効果的に使おう」ということ。

具体的に言うと、すごく裕福な家庭を、まず描写します。

暖かそうな暖炉、テーブルの上には七面鳥、プレゼントを抱える優しそうな両親。
その光景を窓から見ていた少女は、深い溜め息をついて視線をそらす。

どうでしょうか？

少女本人の説明はほとんどしていないのに、貧しくて不幸なんだと、見ている読者にしっかり伝わりますよね。

今のはちょっとした例ですが、シーン1つで象徴的に訴えると、消費する文字数を大幅に減らせますし、読者の側も絵が浮かんでくると思います。

ということ、その投稿者さんは主張していて、まさに目からウロコの発想でした。

小説は文字だけで成り立っているんで、説明も文字に頼りがちですが、シーンで説明できたら強いですよ。ね。

自分はなかなかそうできないので、自然とそういうシーンが浮かぶようなセンスを、書きながら身につけたいです。

こんばんは！

今日は簿記検定2級の試験でした！

学習期間3か月ですが、結果は、たぶん合格しました。

あくまで自己採点ですが、よっぽど変な書き間違いがない限り、大丈夫だと思います。

さてさて。

すっかり資格の勉強にハマっている最近ですが、どうして急にそうなったかという、今までずっと一つの疑問があったんです。

その疑問とは、

「小説投稿に消費しているパワーや時間を、そのまま勉強に費やしたら、実は色んな資格が取れるんじゃない？」

で、気になるからには実践だと思い、簿記検定で検証してみた結果、個人的にはこんな感じの手応えでした。

【簿記4級】 短編小説を2本仕上げるくらいの労力

【簿記3級】 長編小説を1本仕上げるくらいの労力

【簿記2級】 長編小説を3本仕上げるくらいの労力

使った時間だけではなく、必要だった労力や精神力を総合的に判断した結果、上の結論になりました。

執筆の労力や勉強の労力には、個人差があるので、アテにはならない話ですが。

ただ自分の基準で振り返ると、長編5本くらいの労力を、簿記に消費したと思います。

別にだから何ってわけでもないんですが、こういう検証は個人的に面白いので、次は他の資格にも挑戦したいと思います。

こんばんは、らくだです。

今回は創作ツールに関する話題です。

皆様は自作品の読み直しをする時、どんなツールを使っていますか？

自分の場合は、

- (1) 紙に印刷して読む
- (2) キンドルにデータを送る
- (3) PDF に変換して iPad で表示する

という方法を取っています。

印刷したりデータを流したり……という手間がありますが、パソコン以外の媒体で読み直しができる、ちょっとあいた時間などに推敲できて便利なんですよ。

ちなみに (3) の PDF ですが、先日投稿仲間さんにお会いした時、書き込みできるソフトを見せてもらいました。

そんなわけで、自分も試してみたんですが、すごい便利！

指だとさすがに難しいですが、タッチペンを使えば、ほぼストレスなく書けます。

例えば読み直す時は全体表示、書き込む時は拡大（これも教えてもらった）で、紙原稿に赤入れするような使い方ができるのです。

何枚か並べて見比べたい時は、やっぱり本物の紙原稿が便利ですが、「かさばらない」「どこでも作業できる」という利便性はデジタルの魅力ですよ。

ポメラはちょっと合わなかったんですが（汗）、iPad + PDF の書き込みは、どんどん活用していこうと思いました。

こんばんは、らくだです。

ちまたで話題のNISAを開設し、投資信託を始めました。

NISAというのは、株や投資信託の、小額投資非課税制度のことです。

使い勝手は賛否あるみたいですが、せっかくなので、しばらく試してみようと思います。

ちなみにギャンブルといえば、自分は競馬もパチンコもマージャンも、まったく経験がありません。

それならギャンブルの経験がゼロなのかっていうと、そういうわけではなく、以下のような悲しい思い出があったりします。

- ・ 香港・マカオへ一人旅
- ・ 見学気分で立ち寄ったカジノにドハマリ
- ・ 通い詰めてたくさん遊んだ結果、ゴールドカードを作ってもら
- ・ 食事・宿泊無料などの特典に、気分はまるで海外セレブ
- ・ すっかりいい気分になって、徐々に賭け金が大きくなる
- ・ 身の丈に合わない金額を注ぎ込んだ結果……（詳細割愛）

およそ2年で以上のルートを一巡しました。

ま、典型的なカモネギってヤツですね。

今思えば一目瞭然なのに、経験中は気付かないんだから、不思議なもんです（汗）

そんなわけで、ギャンブルの危険性は身に染みましたが、あくまでも趣味で楽しむ範囲ならいいのかなーと。

特に株や投資信託は、FPの学習範囲にもなっているので、この機会に勉強しつつ経験を深めてみようと思います。

キャラの誕生日 - 2015.02.25 Wed

こんばんは、らくだです。

カレンダーを見てふと気付いたんですが、今日は執筆中の自作キャラの誕生日です。

まあでも、あくまで二次元の人物なので、おめでとうって気はしないですけど。

自分は重度の二次コンですが、そこはなんとなく、明確な線引きがあるというか。

ところで皆様は、自分で書いているキャラについて、毎回どの程度まで詳細な設定を決めていますか？

周囲の投稿者さんに話を聞いていると、かなり個人差があるみたいですね。

ちなみに自分の場合は、下のような感じです。

【名前、年齢、性格、一人称】 もちろん決める

【家族】 作中に出す必要がなくても、両親の性格、兄弟姉妹の有無などは決める

【髪型】 一応決めるけど重視はしない（最初にサラッと説明する程度）

【身長】 決めないけど、メインキャラ同士の身長差は、漠然と決める

【体重】 体型（小柄、痩せ型）だけ決めて、具体的な数字までは決めない

【血液型】 性格との関連で決める

【誕生日、星座】 普通は決めない（作中に出す必要がある場合だけ決める）

【趣味】 性格との関連で決める

【恋愛歴】 恋愛物じゃなくても決めておく

何を決めて何を決めないかは、正解・不正解のある問題じゃなくて、あくまでやり方の違いの問題なので、他の投稿者さんと語り合うと面白そうな気がします。

皆様は、「これは絶対決める！」という、こだわりの部分はありますか？

久し振りにコメントを開けますので、もしよろしければ、是非ご意見をお聞かせください。

この話題以外の話でも、何か感想や意見等がありましたら、お待ちしております。

こんばんは、らくだです。

キャラ設定の話題に関して、意見をくださった皆様、ありがとうございます。
正規のコメント欄だけでなく、裏からのコメントも、ありがたく拝見しました。

自分が載せなかった項目としては、癖（口癖）、表情変化、食べ物の好き嫌い、成績や得意科目……等々が多いみたいですね。

特に強面キャラの好物がプリンとか、食べ物でギャップをつける手法(?)というのは、なるほどーと共感しました。

クールキャラの好物がイチゴミルクとか、おっとり系のお姉さんが実は酒豪とか、色んなケースに応用がききそうです。

あと、各キャラの属性を、タロットに当てはめるというご意見も。

そう言われて思い出したんですが、自分も風水に関する話を書いた時は、メインキャラの守護星と本命卦を決めました（中二病）。

それからもう一つ思い出したんですが、自分が必ず決める項目の中に、その作品の地理的な舞台がありません。

〇〇県〇〇市とか、電車の最寄り駅とか、具体的に設定しますね。

作中で触れない場合もありますが、想像しやすいので、設定そのものは必ず決めます。

そんなわけで、他の方と語り合うと面白い、「キャラ設定をどこまで決めるか」。

昨日のコメント欄は引き続き開けておきますので、他にもありましたら是非色々教えてください。

原因不明の胃痛発生。

どうして？

酒やめたのに？

まさか勉強のしすぎ？

そんなわけで学習分のノルマを翌日に回し、その時間を執筆に充当したら、何事もなかったように回復しました（驚）

それもそのはず、創作の時間が取れないことに、最近イライラしてたんですね。
自分から好きで勉強してるのに、怒るのも変だから、あえて言わなかったんですが。

まあ、それで身体を壊しても損なので、これからはストレスを溜めないよう、適度に小説も書いていこうと思います。

しかし、それにしても。

仕事も恋愛も人間関係もそうですが、自分が真剣に取り組んでいる物事って、良くも悪くも影響を受けちゃいますよね。

ほんのささいな出来事で、喜んだり落ち込んだり。
自分でコントロール不能くらい、精神状態が左右されるっていう。

思春期の恋愛はその最たる例ですが、自分にとっては小説投稿もそうです。
執筆が苦痛で胃痛になれば、逆に執筆できないのが苦痛で、胃痛になったりもします。

そういう意味では厄介な趣味ですが、まあそれも好きな気持ちの裏返しなので、今後もうまく付き合っていきたいと思います。

というわけで、今回の話題は、胃痛に関するひとりごとでした。

このブログを読んでくださっている方々は、基本的に投稿者さんだと思いますが、こんな不安を感じたことはないでしょうか。

『小説投稿に時間やパワーを注ぎ込んでも、結局のところ作家になれなかったら、何もかも無駄になるんじゃないか?』

ないなら別にいいんですが、自分は長い間、ずっとそう思っていました。

やっぱり小説投稿の世界って、残酷ですけど、結果がすべてですからね。
最終的に作家になれなかったら、すべての労力が、無駄になるんじゃないかなって。

そう思っていたんですが、今はちょっと、考えが変わりまして。

小説家になることだけが、人生における唯一絶対の最終目標だったら、なれなかった場合の労力は確かに無駄かもしれません。

でも実際は、それだけじゃないですよ。
作家になれなくても、もちろん人生は続くわけで、そこで終わるわけじゃないですし。

そう考えたら、投稿で悩んだり苦しんだりしたことは、たとえ小説家になれなかったとしても、長い人生において有意義な経験になるんじゃないかと。

今はそう考えているので、「この経験は無駄にはならない、だから安心して全力を出そう」という姿勢で、執筆やらブログやら創作活動に取り組んでいます。

ま、結果を出せていない自分が言っても、ただの自己満足っぽいですけどね（汗）

でも世の中には、無駄な涙なんて、存在しないと思いますし。
本気で何かに取り組んだ経験は、いつの日かきっと、自分自身の糧になると思います。